

2 防災・領土の資料が充実 防災への意識が高まる充実の資料

資料図を例に

自然災害の発生過程から、被害、対策、そして復興まで学べます。
理科との関連など、教科等横断的な活用も可能です。

A 自然災害を理解する

▶地震や火山、水害などに関する意識を高められるように、日本で起こり得るさまざまな自然災害と防災への取り組みを示しています。

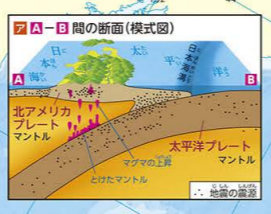
B 地域での防災につなげる

▶防災対策に留まらず、震災後の復旧や復興を見据えた視点を取り上げています。また、先人が残した“水害の碑”に刻まれた教訓をもとに、防災について考えられます。

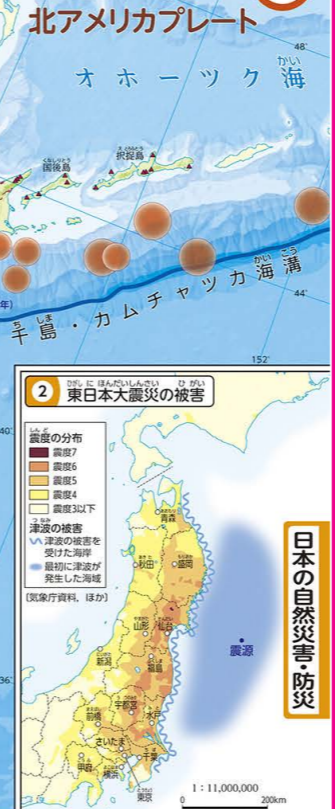
A リニューアル

149 日本の自然災害・防災

学習課題 日本では、どのような自然現象によって、どのような自然災害が起こっているのだろうか。



150 日本の自然災害・防災



B リニューアル

12 震災の被害と復興



B リニューアル

9 広島市付近にある水害の碑の分布



さまざまな自然災害を示すだけでなく、その対策について、**模式図をもとに実感をもって学習**できます。

地形図とハザードマップをもとに、**起こり得る災害から身を守ることを、生徒自身が考えられます。**

充実の「防災」に関する資料(日本の7地方すべてに設置)

1	p.88⑫	火山災害への備え-島原半島-	New
2	p.96⑨	広島市付近にある水害の碑の分布	New
3	p.97②	神戸市付近のようす-災害への備え-	New
4	p.101-102①	大阪湾周辺の地形-地形と歴史・防災-	New 原寸大 本資料 p.23-24
5	p.108⑤	富士山噴火時の降灰予想	New
6	p.115③	洪水への備え	New
7	p.123-124①	東京都周辺の地形-水と人の関わり・防災-	New 原寸大 本資料 p.21-22
8	p.130⑦	都市型洪水への備え	New
9	p.130⑧	東京都の大規模災害への備え	New
10	p.132⑫	震災の被害と復興-岩手県宮古市(田老)-	リニューアル
11	p.144⑩	雪にそなえる札幌市	New
12	p.149-150	日本の自然災害・防災	リニューアル

防災・領土の資料が充実 地域の防災を考えられる詳細な地形表現

15万分の1図を例に

詳細な地形のようすを示した地図を新設しています。
防災や歴史、産業などの学習テーマ(主題)を深められます。

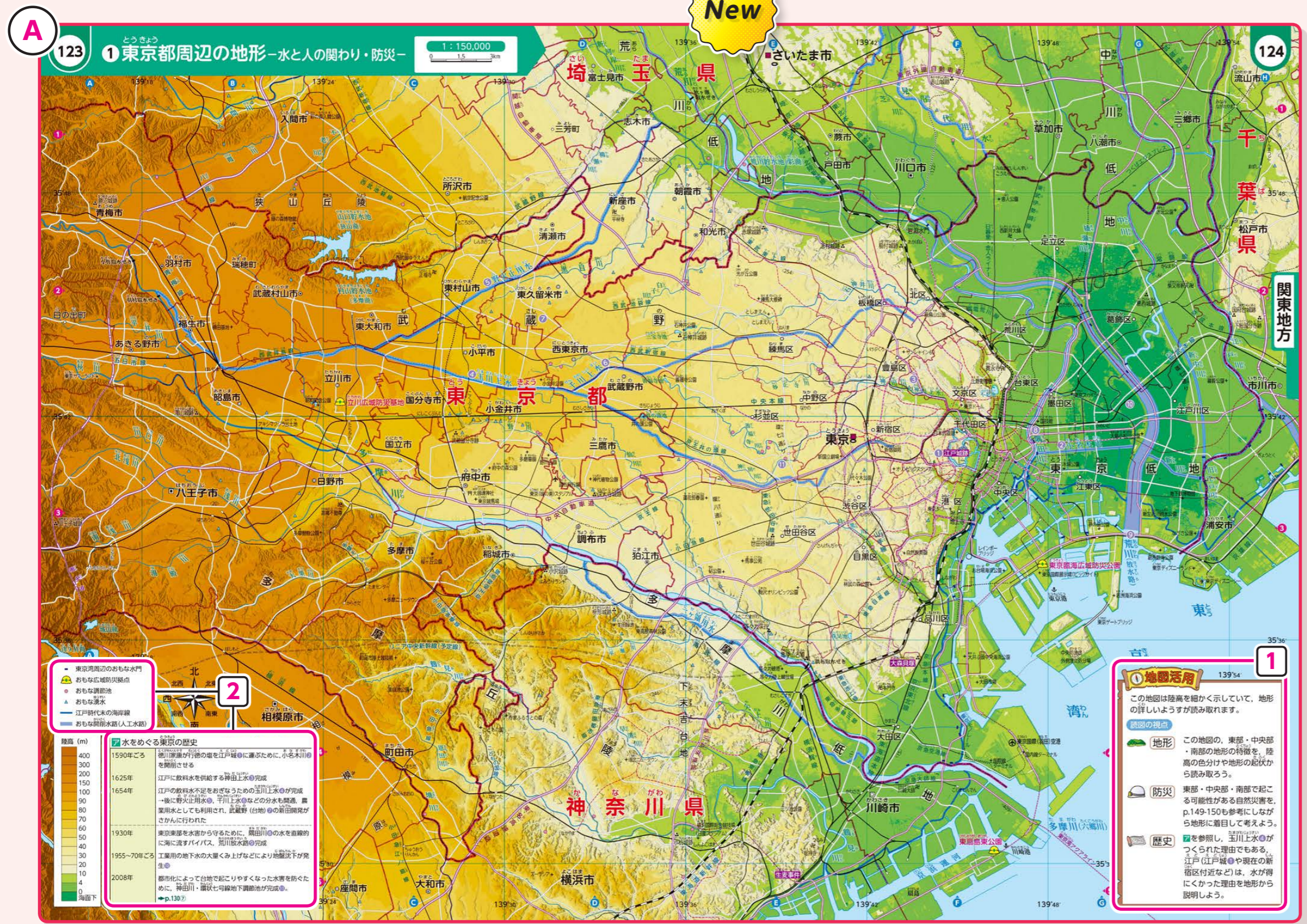
A 地形と人との関わりがつかめる地図

▶ 詳細な地形をもとに、その地域で起こりやすい自然災害とその対策など、**地形と人との関わりを読み解けます。**

! **ポイント**

学習テーマ(主題)をもとに地図を読み解く

- 「地図活用」コーナーで、詳細な地形表現の地図を読み解くための視点を示しています。地形と、防災や歴史との関わりを捉えられます。
「地図活用」の詳細は、本資料p.35-36
- 「凡例や年表」をもとに、江戸時代からの治水事業や近年の都市型水害についてなど、**地形と人々の生活との関係が読み取れます。**
読図の視点は、本資料p.21-24にも掲載



B 防災への理解を深める

▶ 人口が集中する都市部での「都市型洪水」とその対策を理解できます。例えば東京都の都心部では、Aの地図の「おもな調節池」の凡例と併せて確認することで、**防災対策についての理解をより深められます。**

B

7 都市型洪水への備え (東京都建設局資料、ほか)

▶ p.130

1 地図活用

この地図は陸高を細かく示していて、地形の詳しいようすが読み取れます。

読図の視点

- 地形** この地図の、東部・中央部・南部の地形の特徴を、陸高の色分けや地形の起伏から読み取ろう。
- 防災** 東部・中央部・南部で起こる可能性がある自然災害を、p.149-150も参考にしながら地形に着目して考えよう。
- 歴史** ②を参照し、玉川上水がつけられた理由でもある、江戸(江戸城)や現在の新宿区付近などは、水が得にくかった理由を地形から説明しよう。

2

水をめぐる東京の歴史

1590年ごろ	徳川家康が行徳の壘を江戸城に遷都するために、小名木川を開削させる
1625年	江戸に飲料水を供給する神田上水が完成
1654年	江戸の飲料水不足を解消するための玉川上水が完成。後に火災用水、平川上水などの分水も開通。農業用水としても利用され、武蔵野(台地)の灌漑開発がさかに行われた
1930年	東京東部を水害から守るために、荒川放水路が完成
1955~70年ごろ	工業用の地下水の大規模な上げなどにより地盤沈下が発生
2008年	都市化によって台地でも起こりやすくなった水害を防ぐために、神田川・環状七号線地下調節池が完成

▶ p.130

15万分の1図と学習テーマ(主題)

1	p.101-102① (15万分の1図)	大阪湾周辺の地形 学習テーマ 地形と歴史・防災	New
2	p.113① (30万分の1図)	名古屋市とそのまわり 学習テーマ 自動車工業	New
3	p.123-124① (15万分の1図)	東京都周辺の地形 学習テーマ 水と人との関わり・防災	New

※名古屋市とそのまわりのみ30万分の1図

原寸大

❗ ポイント

▶ 東京低地などの海面下の土地や、台地上での調節池の分布といった防災の視点や、江戸城をはじめ多くの城は台地のへりに造られていたことなど、地形と歴史の関係も読み取れます。



- 東京湾周辺のおもな水門
- おもな広域防災拠点
- おもな調節池
- おもな湧水
- 江戸時代末の海岸線
- おもな開排水路(人工水路)



400
300
200
150
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
4
0 海面下

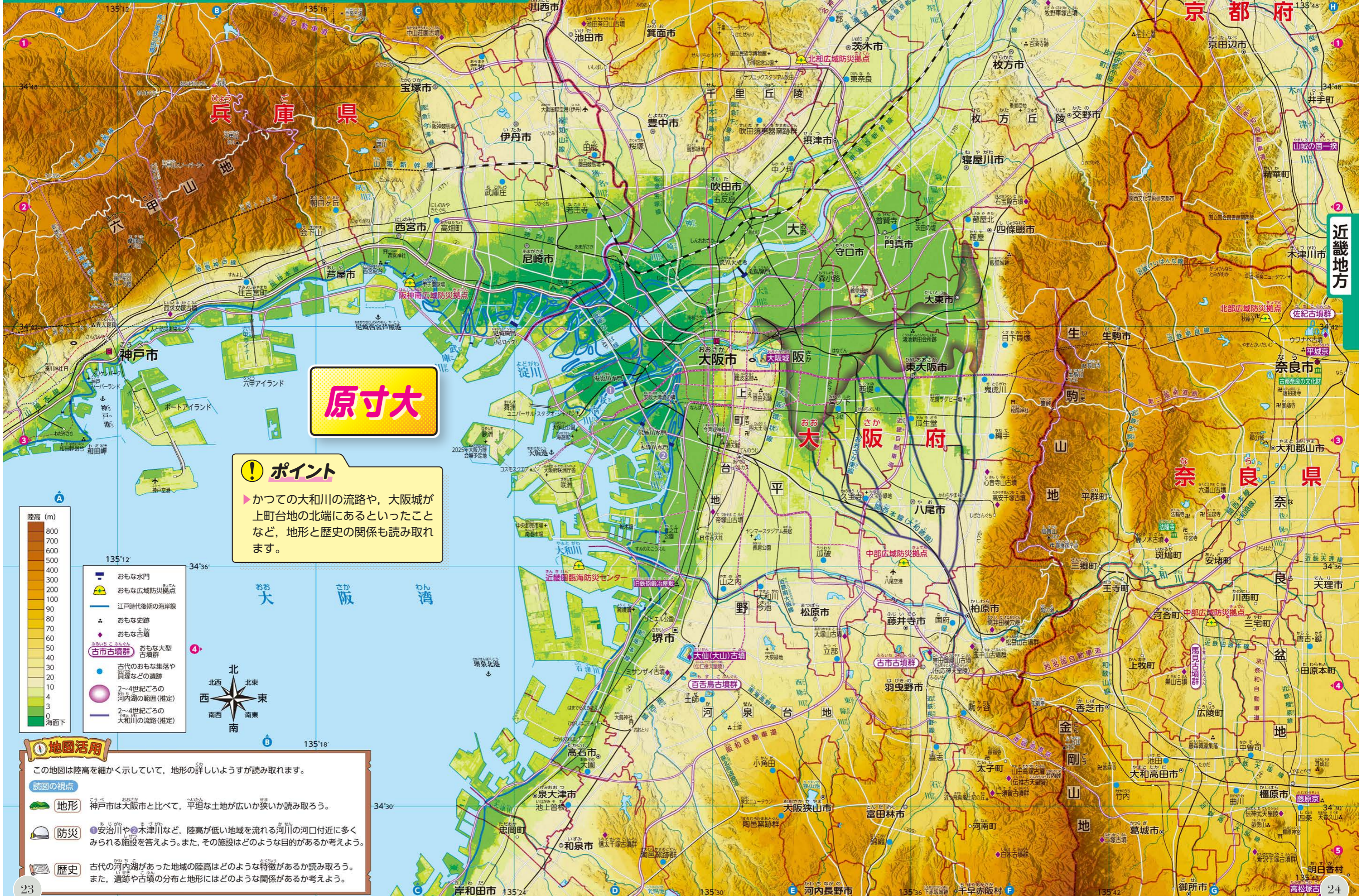
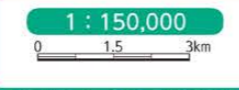
1590年ごろ	徳川家康が行徳の塩を江戸城に運ぶために、小名木川を開削させる
1625年	江戸に飲料水を供給する神田上水完成
1654年	江戸の飲料水不足をおぎなうための玉川上水完成 → 後に野火止用水、千川上水などの分水も開通、農業用水としても利用され、武蔵野(台地)の新田開発がさかに行われた
1930年	東京東部を水害から守るために、隅田川の水を直線的に海に流すバイパス、荒川放水路完成
1955~70年ごろ	工業用の地下水の大量くみ上げなどにより地盤沈下が発生
2008年	都市化によって台地で起こりやすくなった水害を防ぐために、神田川・環状七号線地下調節池が完成

📖 地図活用

この地図は陸高を細かく示していて、地形の詳しいようすが読み取れます。

読図の視点

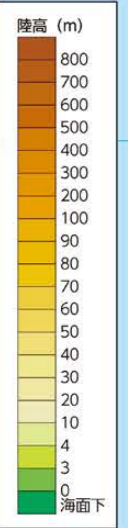
- 地形** この地図の、東部・中央部・南部の地形の特徴を、陸高の色分けや地形の起伏から読み取る。
- 防災** 東部・中央部・南部で起こる可能性がある自然災害を、p.149-150も参考にしながら地形に着目して考えよう。
- 歴史** 📖を参照し、玉川上水がつくられた理由でもある、江戸(江戸城)や現在の新宿区付近などは、水が得にくかった理由を地形から説明しよう。



原寸大

ポイント

かつての大和川の流路や、大阪城が上町台地の北端にあるといったことなど、地形と歴史の関係も読み取れます。



- おもな水門
- おもな広域防災拠点
- 江戸時代後期の海岸線
- おもな史跡
- おもな古墳
- おもな大型古墳群
- 古代のおもな集落や貝塚などの遺跡
- 2~4世紀ごろの河内湖の範囲(推定)
- 2~4世紀ごろの大和川の流路(推定)



地図活用

この地図は陸高を細かく示していて、地形の詳しいようすが読み取れます。

読図の視点

- 地形** 神戸市は大阪市と比べて、平坦な土地が広いのか狭いのか読み取ろう。
- 防災** ①安治川や②木津川など、陸高が低い地域を流れる河川の河口付近に多くみられる施設を答えよう。また、その施設はどのような目的があるか考えよう。
- 歴史** 古代の河内湖があった地域の陸高はどのような特徴があるか読み取ろう。また、遺跡や古墳の分布と地形にはどのような関係があるか考えよう。

防災・領土の資料が充実

日本の領域が正しく理解できる

さまざまな地図を例に

日本の領域(領土・領海・領空)について、わかりやすく示しています。

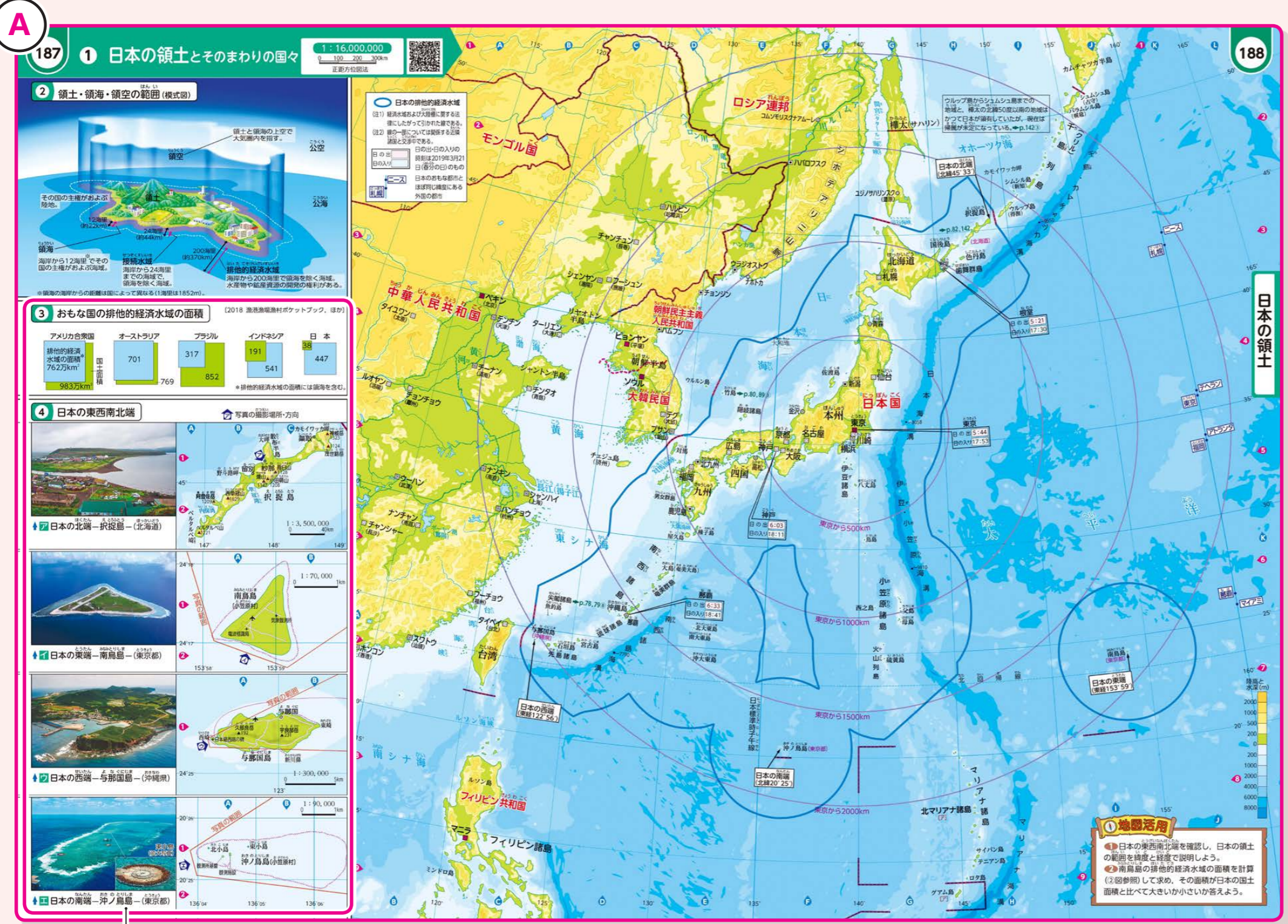
A 日本の領域を正確に把握

▶地図で我が国固有の領土や排他的経済水域がわかりやすく捉えられます。また、模式図による図解で、領域に関する用語の意味も理解できます。

※領土に関する文言は、政府の公式見解によります。

B 地域の目で捉える領土

▶沖縄が東アジアの重要な位置にあることや近隣諸国との結びつきが強いことが読み取れます。また、北方領土の歴史的経緯が読み取れます。さらに、竹島の詳細な地図を新設しています。



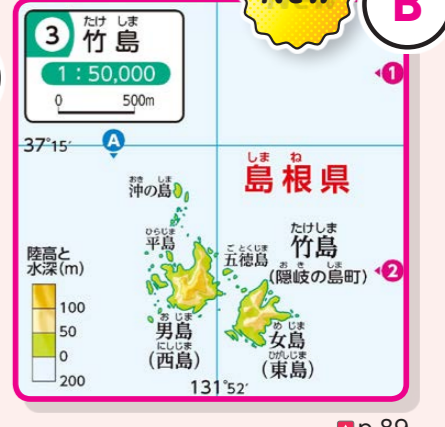
p.187-188



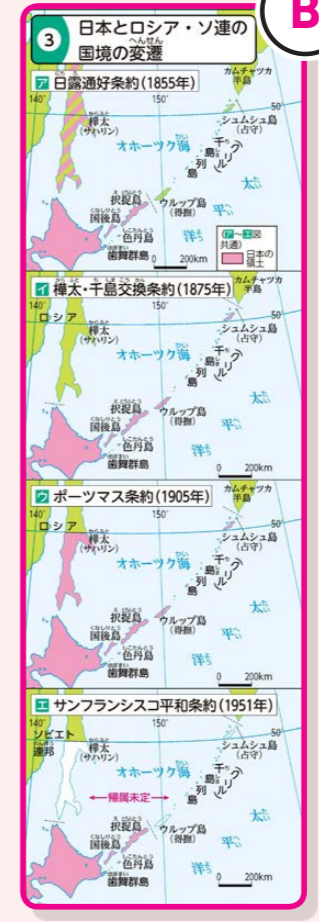
B

特色
2

p.77



p.89



p.142

③図から、日本は国土面積に比して、排他的経済水域が非常に広いことがわかります。
④図から、日本の東西南北端の島々を写真と地図の両方から確認できます。

※北方領土・竹島・尖閣諸島の位置と写真は地図帳p.78, 80-82で確認できます。

領土に関する資料

1	p.77②	南西諸島周辺
2	p.78, p.79⑧	尖閣諸島
3	p.80-81, p.89③	竹島 New
4	p.82, p.142①②③	北方領土
5	p.187-188 ①②③④	領域・排他的経済水域など